

## McSS（中小企業経営診断システム）搭載データ更新についてのご連絡

日頃より、McSS（中小企業経営診断システム）をご利用いただきありがとうございます。

McSS では診断結果における比較情報として、一般社団法人 CRD 協会が運営するデータベースである「CRD (Credit Risk Database)」より算出した統計情報を利用しています。この統計情報は「搭載データ」と呼称し、年に1回のペースで最新の情報との比較が可能となるように更新をしており、直近では決算期が2019年1～12月の決算データを元に作成した搭載データ（以後、決算期2019年搭載データと呼称）を用いる形となっています。

### 《詳細参照》

搭載データ情報 : <https://www.crd-office.net/CRD-BS/service/mcsspro/data.html>

企業評価ポリシー : <https://www.crd-office.net/CRD-BS/service/mcsspro/notice.html>

### 《補足》

搭載データの作成においては決算期からの事後事象（破産等のデフォルト）の観測と集計を要するため、前回更新した2022年4月時点において利用可能な最新情報は2019年1～12月の決算データとなります。

CRD ビジネスサポート株式会社では、従前通り2023年4月に決算期が2020年1～12月の決算データを元に作成した搭載データ（決算期2020年搭載データ）への更新を実施することを予定していました。しかしながら、データ集計を実施したところ、2020年4月に発令された新型コロナウイルス感染症拡大に対する緊急事態宣言の結果生じた、経済活動の停滞に伴う中小企業の決算への影響が非常に大きいことが確認されました。

経営診断における比較情報は、直近のトレンドを反映させることが望ましいですが、同時に評価軸としての時系列的安定性も求められます。結論として、決算期2020年搭載データは比較情報として利用するのに適さないと判断し、2023年度において搭載データの更新は実施せず決算期2019年搭載データを継続することとしました。

なお、次回：2024年4月には、決算期2021年搭載データへの更新を予定しております。

今後とも引き続き、McSSをご活用いただければ幸いです。何卒よろしくお願い申し上げます。

※本件に対するご質問等は [McSS お問い合わせ専用フォーム](#) をご利用ください